



契りの
夢に
雨の
降る

RUNNING ELTANIN

DOUJIN

Adult
Only

R18

契りの
夢に
雨の
降る

RUNNING ELTANIN

BOUJIN
Adult Only
R18

FATE / GRAND ORDER
UNOFFICIAL FANBOOK
RYOMA SAKAMOTO [RIDER]
x
IZOU OKADA [ASSASSIN]



※18歳以下の方の閲覧はご遠慮下さい。

※生前・過去を含め、捏造設定が多々ございます。また、拷問描写・暴力表現等があります。あまり激しいものではありませんが、苦手な方はご注意ください。

※また、この本には、「シャドウサーヴァント・ライダー」でもなく、「坂本龍馬・オルタ」でもない、「もうひとりの坂本龍馬」が出てきます。

オリジナル要素は少な目のつもりですが、そのような設定が苦手な方、また、逆にそのようなオリジナル要素をお求めの方はご注意ください。

ランニング・エルタニン

※エルタニンは、りゅう座ガンマ星の固有名である。

※その名はアラビア語で蛇を意味する言葉に由来する。

※光の速さで50¹年を走り、地球へと到達する。

龍馬

不妄語戒。

隣人を、
偽ってはならない。

龍馬

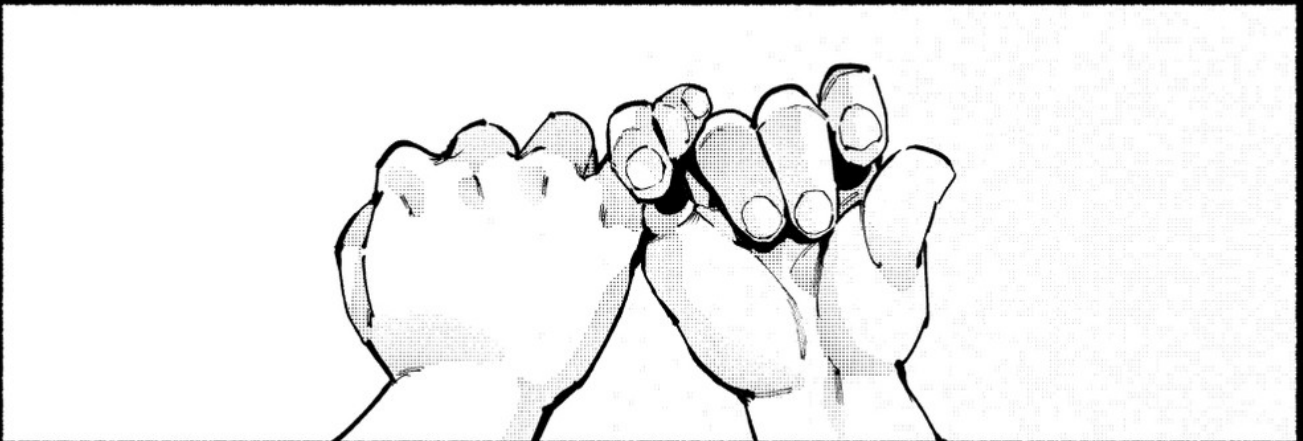
龍馬

おともだちとの おやくそくは、
きちんと まもりましょうね。

助けてほしかった
わけじゃない

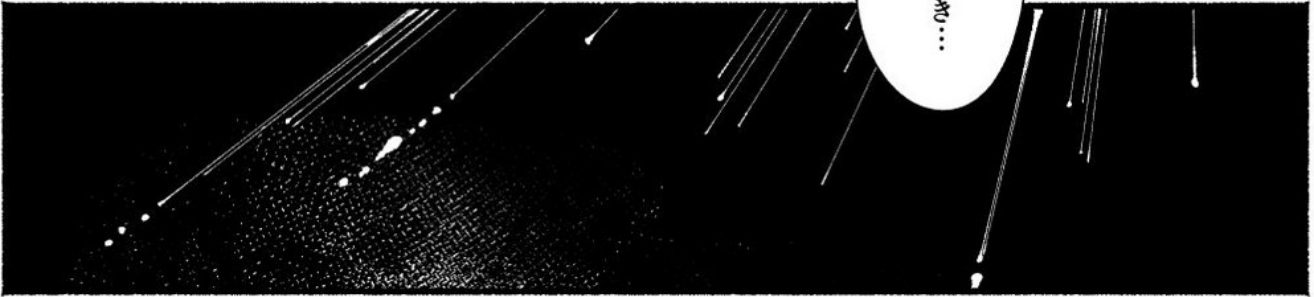
守ってほしかった
わけじゃない

りょうま

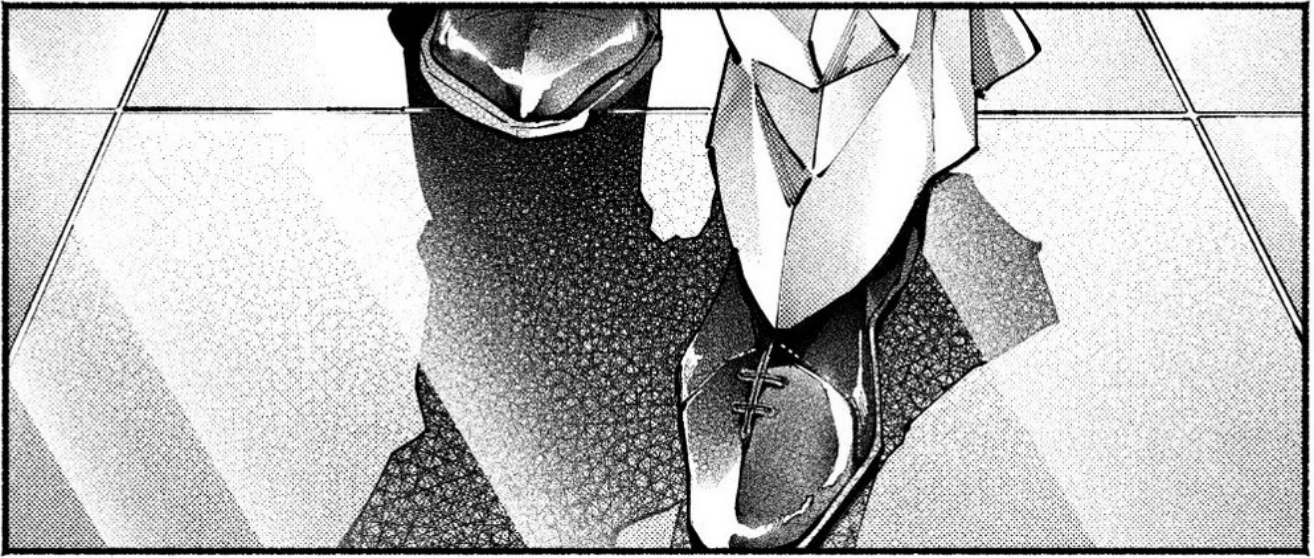
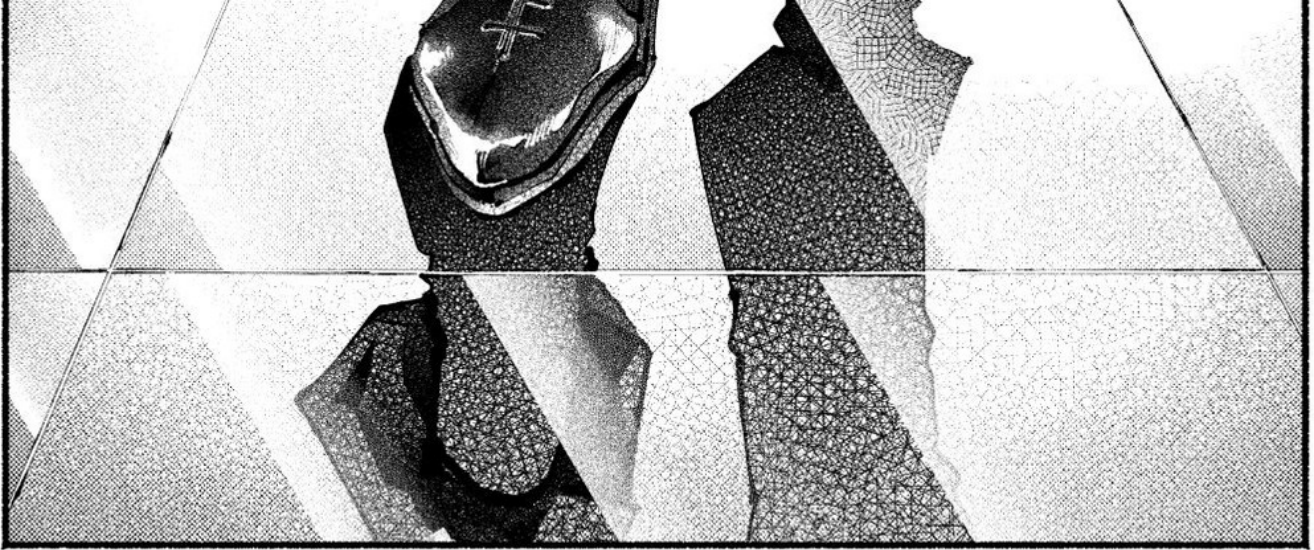




うん...あ...







以蔵さん





ほら…
えらいん

おさまって
きたじゃろ？

よかった…

さあ
行こう

迎えに
きたよ

ほくは
やっど……



や・つ・と
約・束・を
果・た・せ・る・！



：おんしゃあ
誰じゃ

今
そこで



誰・に・
何・を・
し・ゆ・う・か・？



?

龍………?

………?



おんし
かア……

ほオン
………

NOA.

NOA.



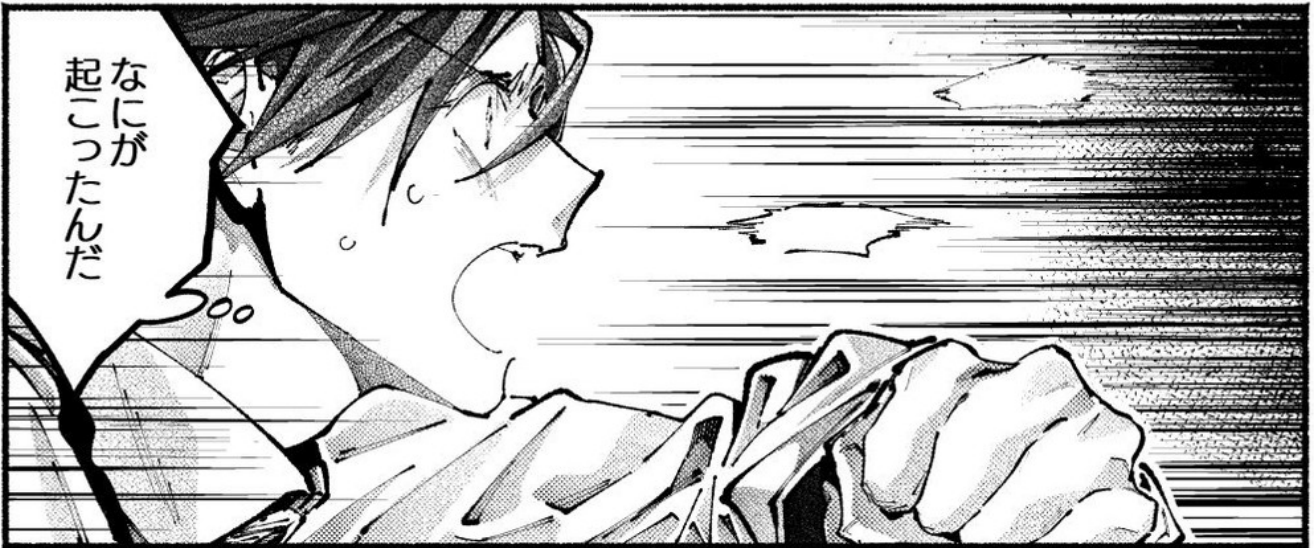
………
見なや
以蔵さん………

おとろしい
カオ
しちよるわ
………



惚れた子オ
ひとり
守りきらん
どころか………

見殺しに
しくさった
ほうの
わしは………



なにが
起こったんだ



向かった先は
わかる

でも…



やること
あるんでね

急ぐんだ



召喚サークルから
龍馬さんが
現れて…

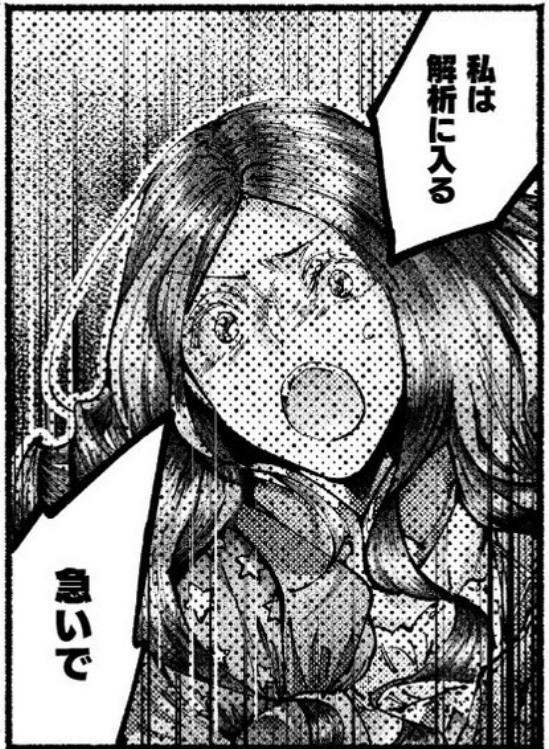
ます
それが
おかし

お竜さんまで
いなかった
…それに



いやな
感じがする

以蔵さん…



私は
解析に入る

急ぐ



……
おんしが
誰かなぞ
もーオ
ええわ

そん子オに
触りなや
言うちよるんじゃ



聞こえんか？
分らんか？

理解が
出来んか？
ほんならえい

ほんならえい
もう構んわ



そりゃあ、わしや
斬りとうない
撃ちとうない

けんど
やらんとは
言っちよらん

ほんで、
ほれば

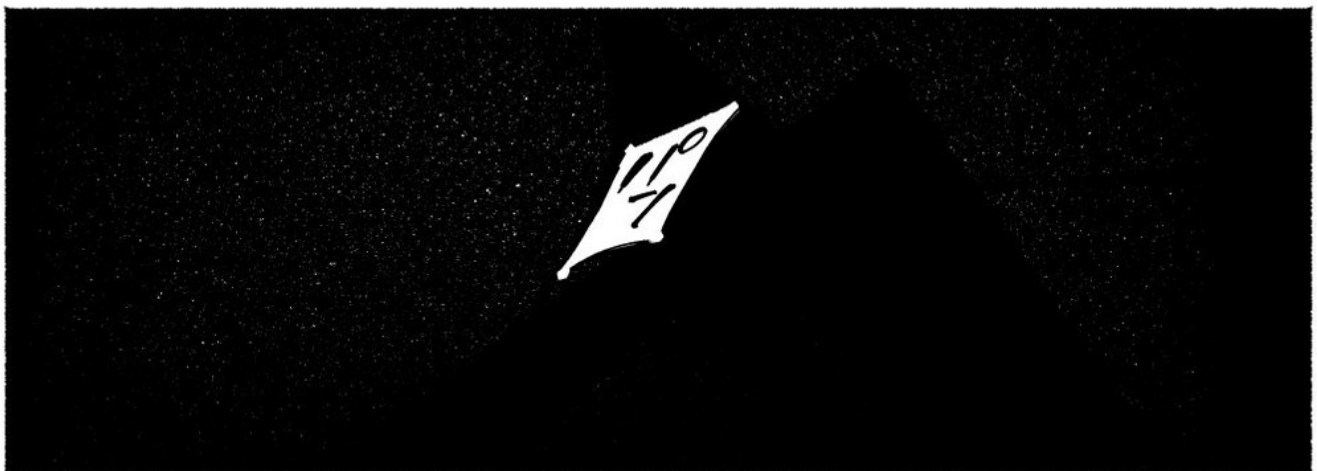
相手に
よるぞ

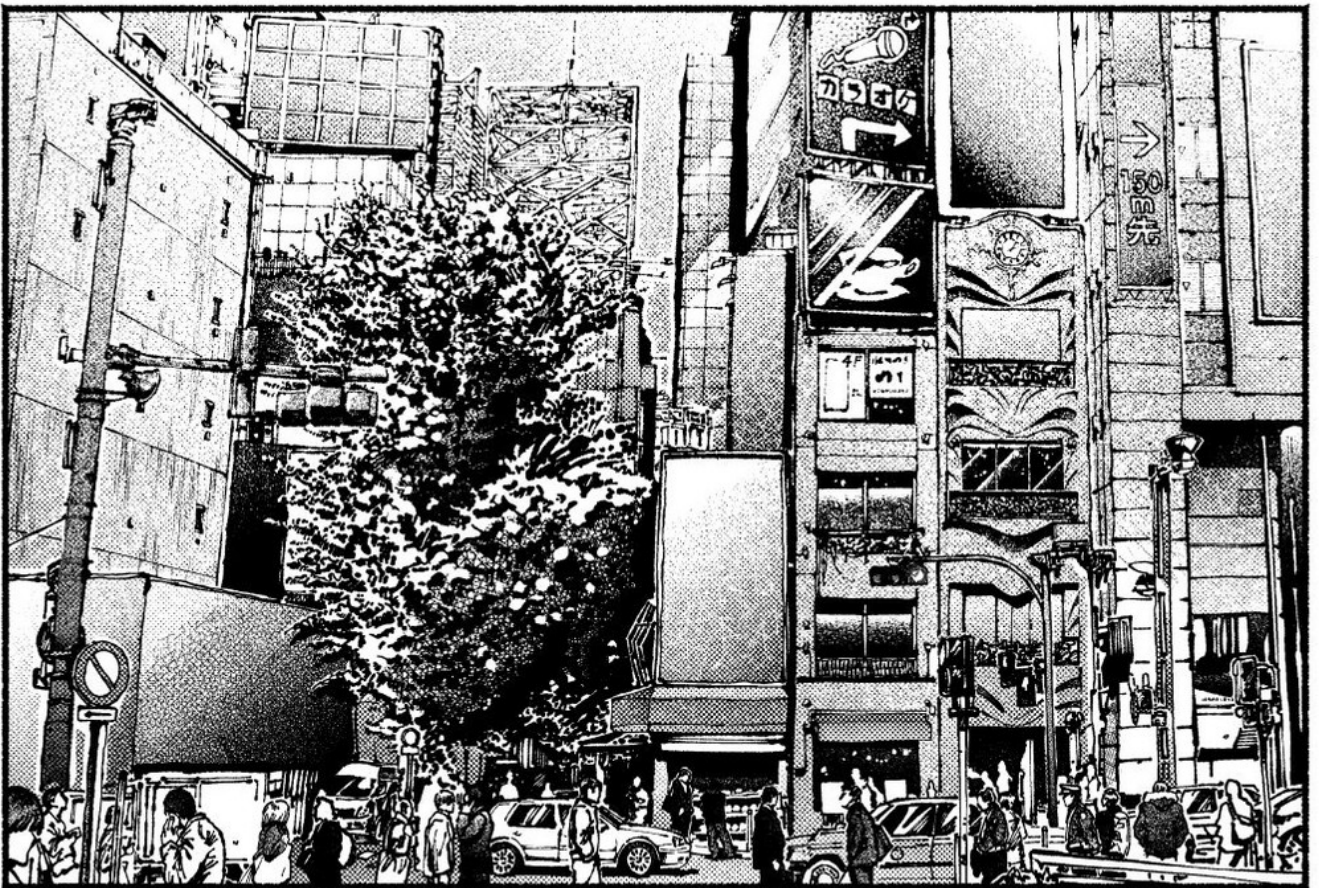
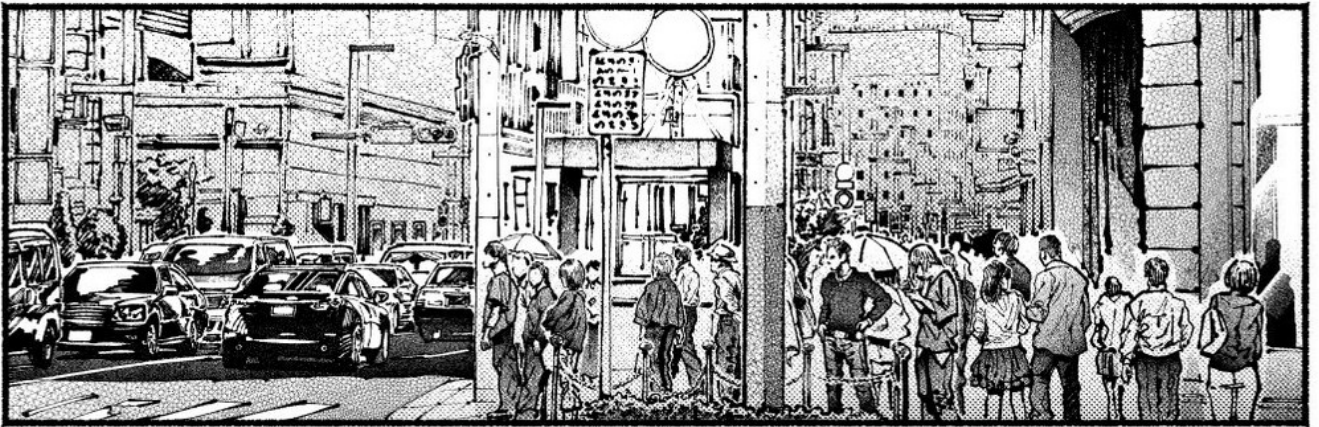


丁度えい
こん世でいっとう
撃ちよい
ド頭^{ズマ}じゃの

これが
最後やぞ

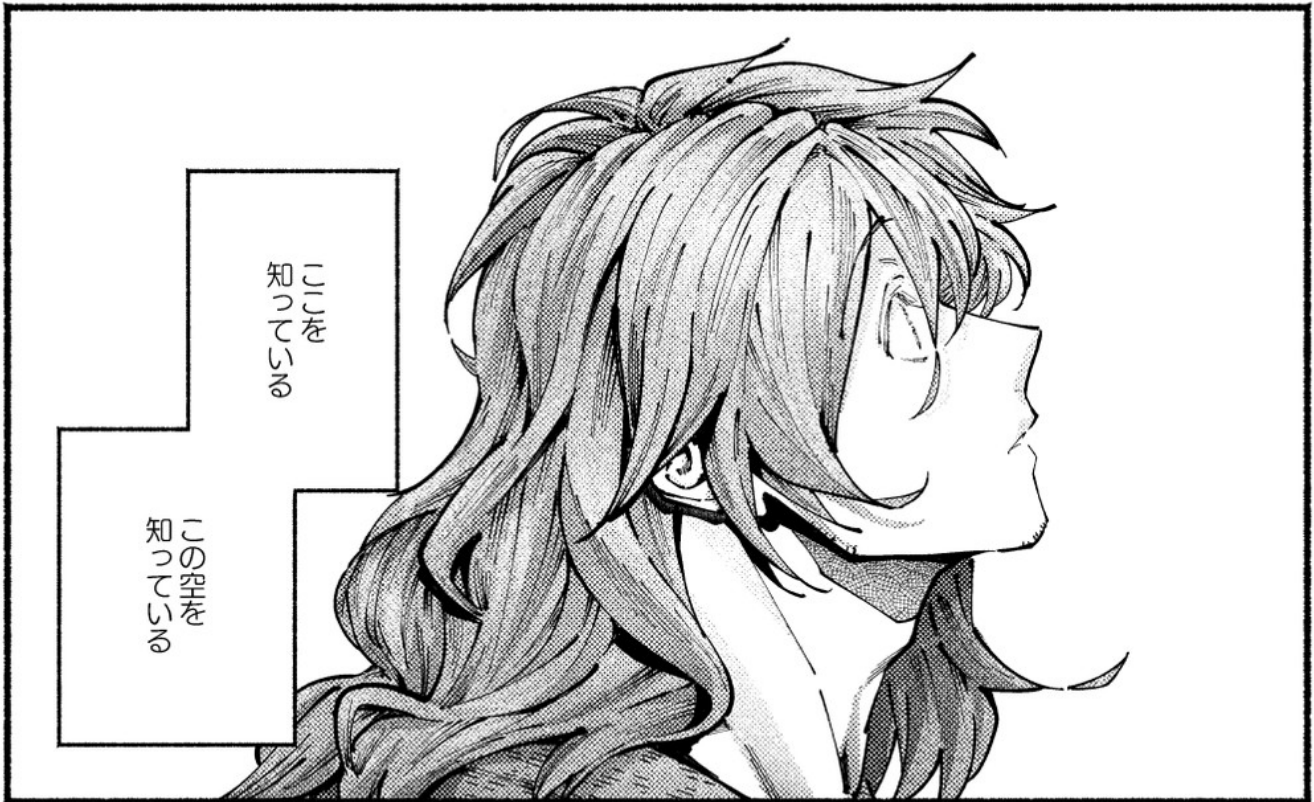
『そん子に
触るな』と
言うとるんじゃ











ここを
知っている

この空を
知っている



となりの
こいつは
きっと

龍馬と
違う

さき、



こんなふう
に
しあわせを

感じたくない

泣かんで
以蔵さん

そばに
おるよ

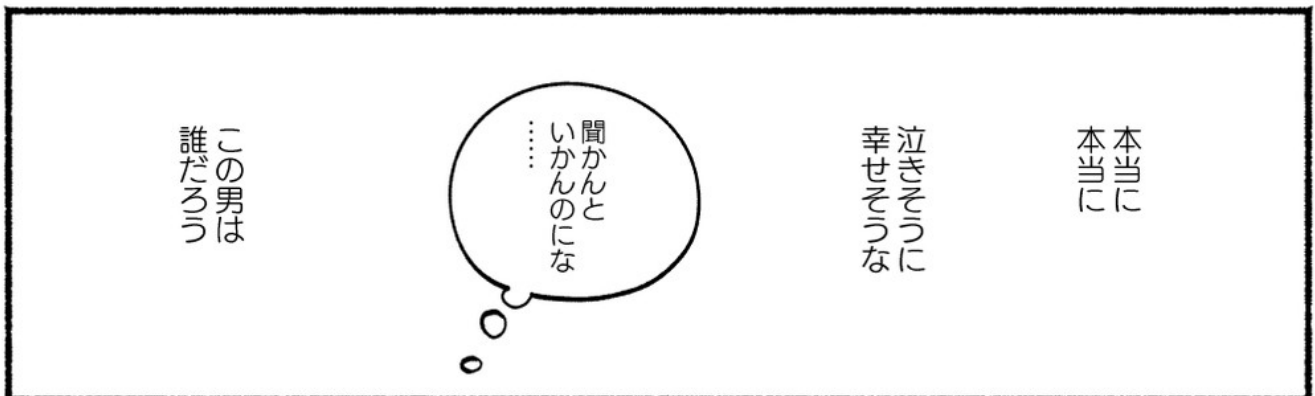
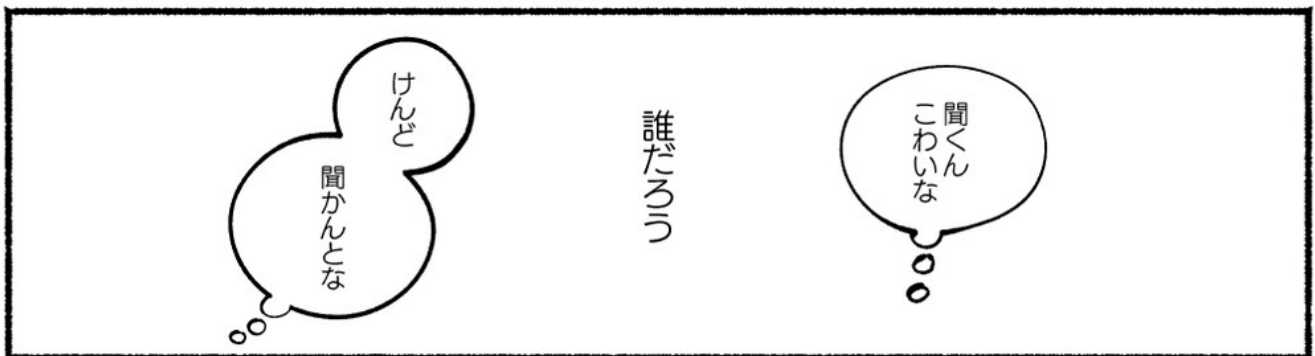


感じたくないのに

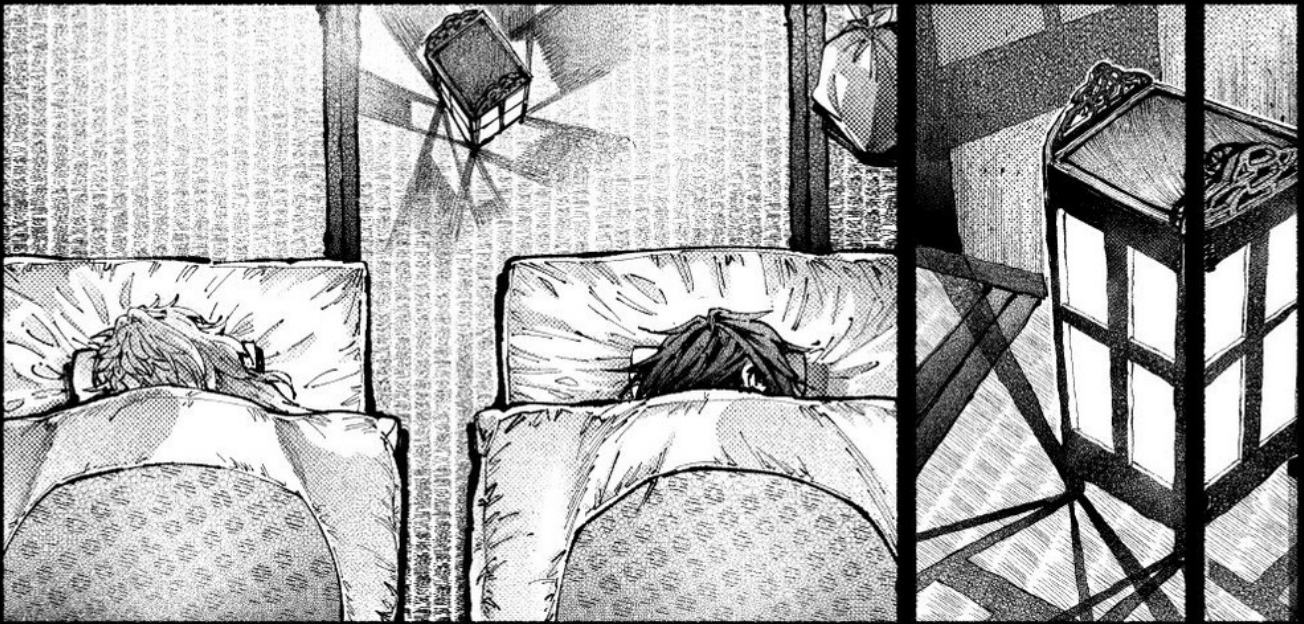














以蔵さん
もう寝たかな

きつと
向こう
むいて

昔みたく
しずかに



ぬくいん
かな...

以蔵さん
昔っから

いつしよじ...
風寝するよ
ぬくうて

冬の夜
泊まった日
なんかも

以蔵さんの
布団は
あつたかくて



以蔵さんは
弟とぼくを
布団に入れる
もんだから

自分が
布団から
はみ出て

そついう
ところも

わしは
好きで

...

...

...寝て
もうよ
...?





うん

つく

んっ
ふ

ハッ
ハッ

ハッ

れ



りよ、

りよ…、つま

待っ…

わし…

はあ

は



わしな？
あんな…

こ…
こがなに

龍馬と
ゆっくり

寝れる日
来るって…

は

は





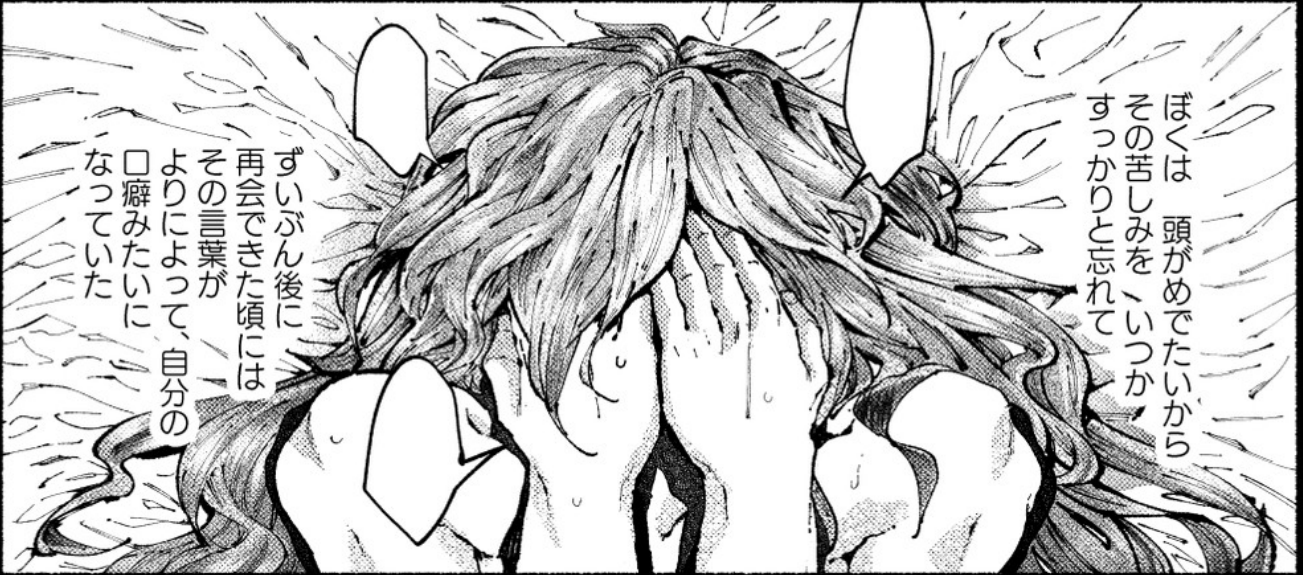




愛しいはずの
この子への
怒りにふるえた

切り裂かれるような
無力感と
焦りと

謝罪が
繰り返されるたび
ぼくは



ぼくは 頭がめだたいから
その苦しみをいつか
すっかりと忘れて

ずいぶん後に
再会できた頃には
その言葉が
よりによって、自分の
口癖みたいにな
っていた



昔も
今も

きみに対して
ぼくは

ほんとうに
ほんとうに
愚鈍な馬鹿に
なってしまう



ぼくは



余計なことを
言わないように



いやなことを
走らないように

口元を
引き結んで
必死に

ただ、以蔵さんを
かきたくし
できなかった



気を抜くと
悪い言葉が
頭をよぎった

息をはくたび
なにかが零れて
しまいそうだった

でも

ぼくの子供っぽい
独占欲と
所有欲は
おそろく

言葉にしない
までも、きつと
以蔵さんを
傷つけていた



ありていに言えば、
ぼくらの
その夜は

ほんとうに
ほんとうに

しあわせなものでは
なかったと思う

その中で



この晩が
初めて
最後だと

この子を、こうして
抱けるのは
きつと



なんでもなく
ふと、知った

ああ、



この時を
どうしても、しあわせに
したいのに

頭の中の、下衆な
いやらしい言葉が
邪魔をした

だから
せめてもと
祈った

以蔵さん

……
以蔵さん



草のにおいが
強くなる中を

以蔵さんと走るのが
好きだった

だから、



洗濯ものも
よく乾く

海は、きらきら
以蔵さんくらいに、光った



ぼくは、お天道さまが
好きだった

かんかんともるく



その晩が
最初で
最後だった



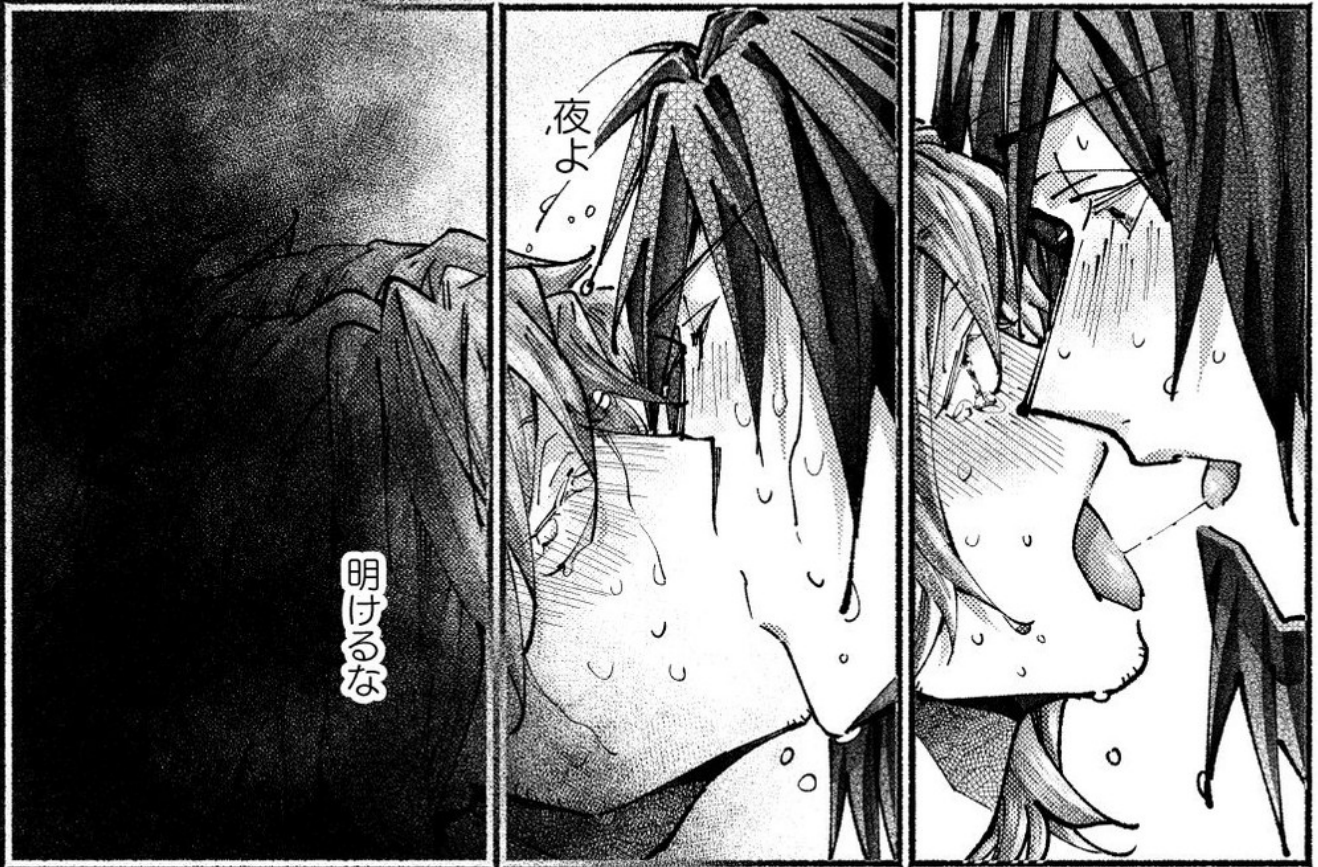
夜明けを
疎んじたのも



まばたきを
十するだけの
間でいいから

半一刻

半日





もう限界だと
心が告げる

もういいだろうと
気が済んだらうと
早く返せと

口汚く
罵って
叫ぶ

おんしか

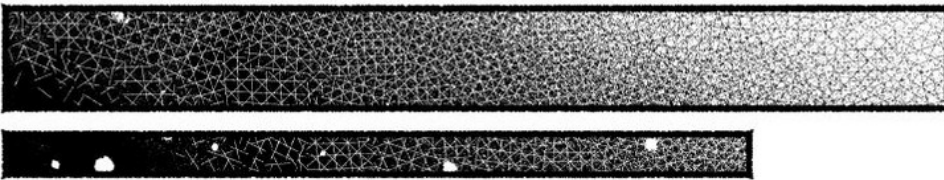
惚れた子 ひとり
守りきらなかった
どころか

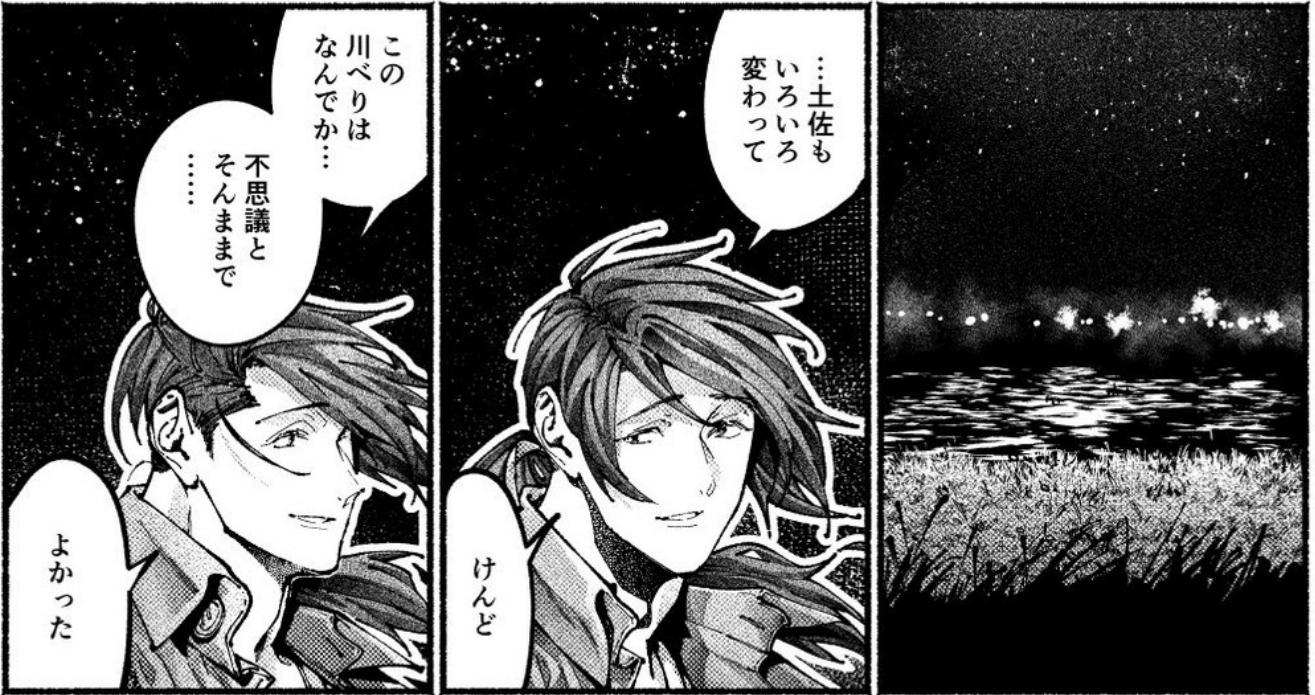
見殺しに
しくさった
ほうの
わしは

あん子は
もう、今度こそ

ほんでも

……
わしんじゃ







おと……ろ、
しゅうて……

おまんが、

ぜんぜん
違う……

そんなら……まだ……
まだ……よかった、

言えんか……、た

わけの
わからん……
そがあもん
じゃったら……

けんど、

偽もんでも……
似とるもんでも……
よう似た別の
もんでもない……

ほ、ほんだら……
ぜんぜん、別の
もんかな……て

思……わ、
な、

つじつま……
あわん……
じゃろ？
合うちよる
よな……？

けんど、
でも、

……
……
……
……

……
……
……



ずうっと
……

言うん……
おとろしゅうて
……

言え……ん
か、って……でも

もう……
もう……

うん
……

聞かな
……

うん



や、
やき……
な、

なまえ、
なまえ、……

名前も……
呼べん……で

けんど……
もう……、
呼ばな……



わしんこと……

そがあふうに……
いっとう
好いちよる……
惚れちよる……
ゆう目えで……

いっしょ……けんめ、
見てくれる
やつ……

ひとりしか……
おらのじゃ
……！



おまん
.....

ほんまもんの
龍馬
じゃろう...?



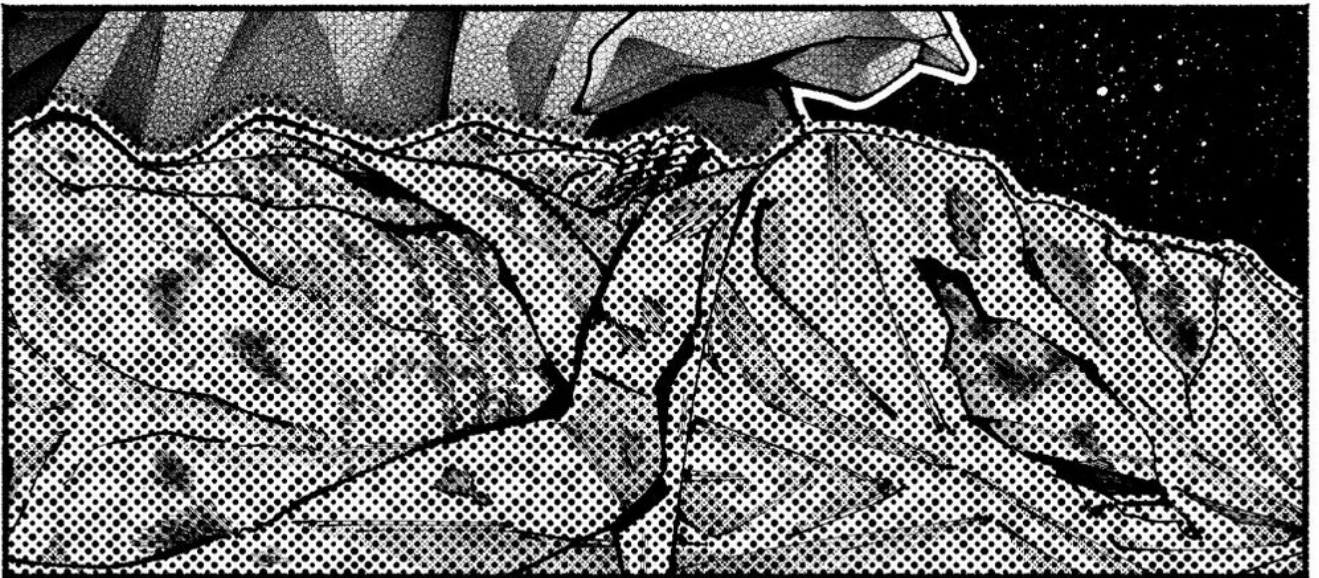


せっかちじやのオ……



盗っ人が
喋りなや

黙って
返せ





睨んじよる？
どん面ア下げて…

何…



なアに
勘違い
しちよる…



「これは
自分のせいじゃ」と

そう
思っちよるん
じゃろう？



……坂本龍馬は

この子の
この最期
この惨状

この結末を

自分のせいだと
思っている

いきさつ
歴史の流れ
時の流れ
人の流れ

何もかもが
どうであれ
大事なのは

坂本龍馬が

それを
『自分のせいだ』と
考えていると
いうことだ

取り戻せない
過去のことだと

それならば
今と明日の
以蔵さんを見
つめるのだと
おんじは選んだ
ようじゃが

わしは
許さん

こん子が
最期まで
抱えきって
守りきった

それを
ないがしろに
することは



この川べりを
おんしは
覚えちよった

やき、
ここに
来たんじやろう？

ほん意味を
自分でも
分かつちよって



ここで
おんしが

何を言ったか
何をしたか

何の罪を
犯したのか



以蔵さん！

以蔵さん

以蔵さん！





：おまんが
わしより
背え高たかあなるんか、
わしより
強おなるんかなぞ、

神さまにも
わからんきに

りようまが
こじやんと守れる
約束：
言うてくれるん
待っちよった

りようま、
約束
やぶらんきに



えいよ

よめさん
なっただげる

ほんまに
ちゃんと
来てな

やくそくな



おどれの
勘違いは
そこじゃ

自分のせい？
ほたえなや


約束ひとつ
守れん男が!!



約束破りの
おんしには…


こん子の死を!!
こん子の命を!!

負う権利なぞ
ないんじゃ!!



盗っ人
言うたか？

わしから
したらのオ



盗っ人は
おんしの方じゃ

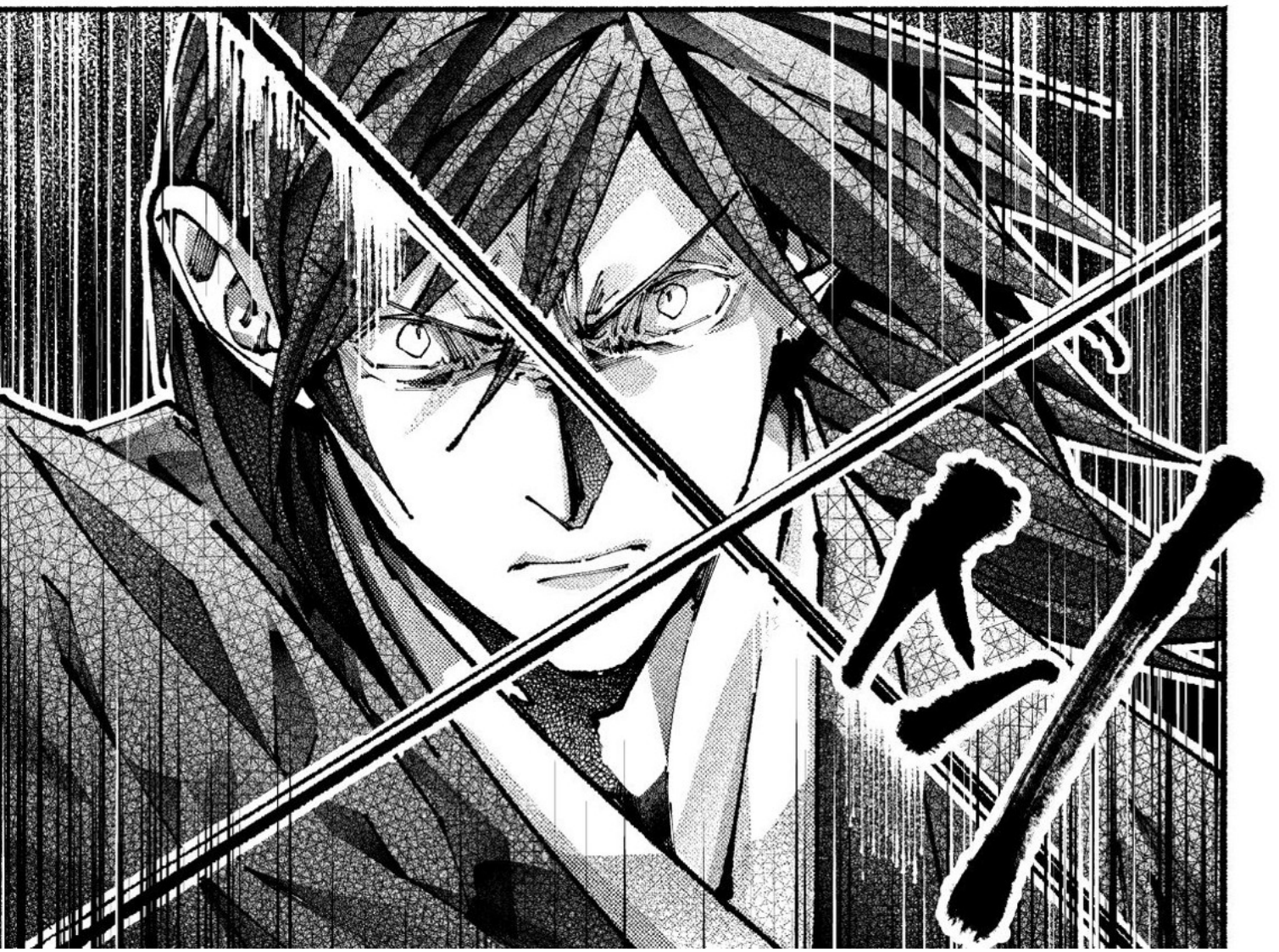


盗っ人は

盗っ人
らしゅう



アッ! アッ! アッ!



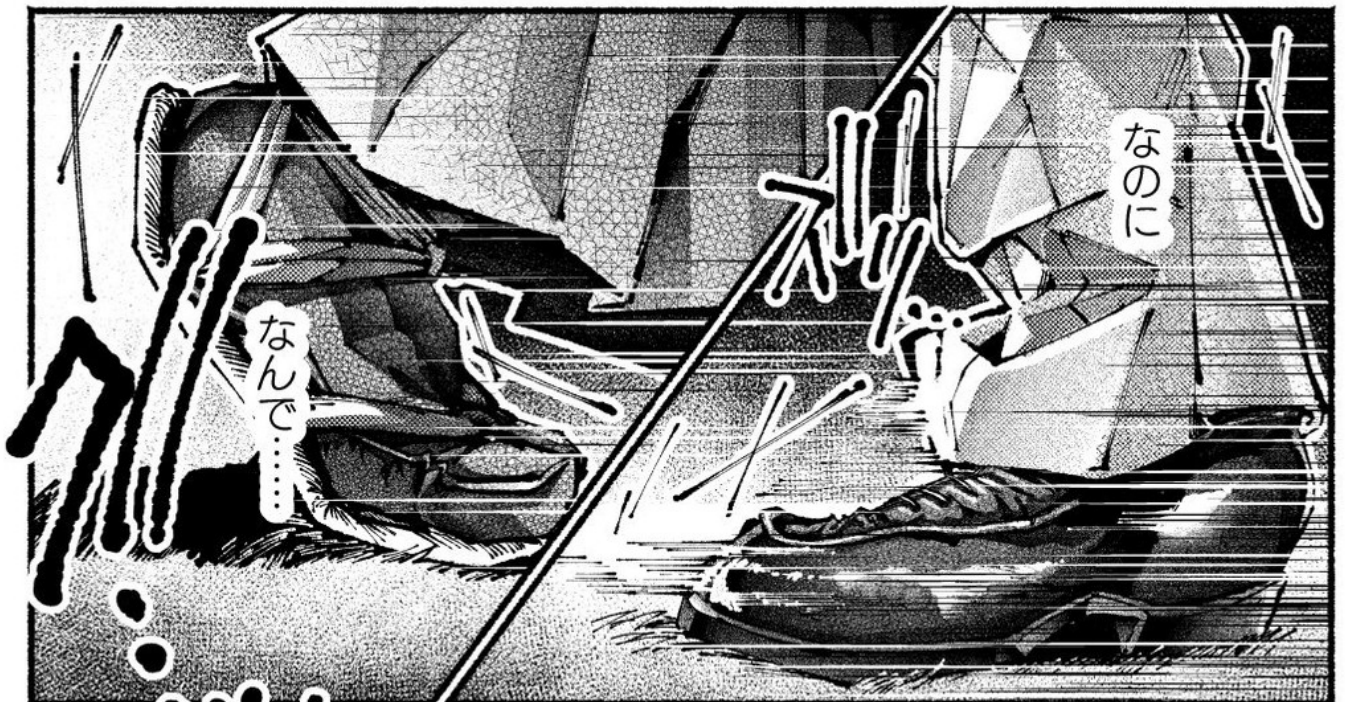


重い…!!

目の前の
この男は

サーヴァント
英霊でも
シャドウサーヴァント
魔力の残滓でも
ましてや 僕の
別側面とも
違う

正式契約した
サーヴァントである分
こちらに 分が
ある筈なのに—



なのに

なんで…





乱れる

落ち着け
聞くな

腰を
落せ...



.....
これは

おんしが
放つぼらかしたもんの
重みじゃ



海は
広がったか？



世界は
楽しかったか？





海の
雄大さ

世界の
広大さ

フワフワ
フワフワ

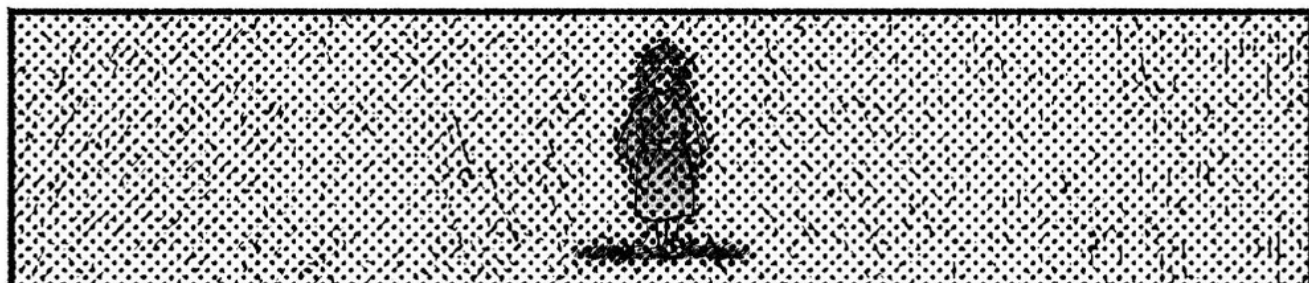
高いところ
浮いちよるきに

そがあ
太いもんばかり
追っかけて



いっとう
大事な
もんさえ

こまあに
なつて
……



なあんも
見えんよう
なるんじゃ！

故郷に
惚れた子オ
放っぽらかして

ほんくせ
故郷に
銅像なんぞ
建てられて

この剣が
重いのは

この言葉が

ほんで
今度は

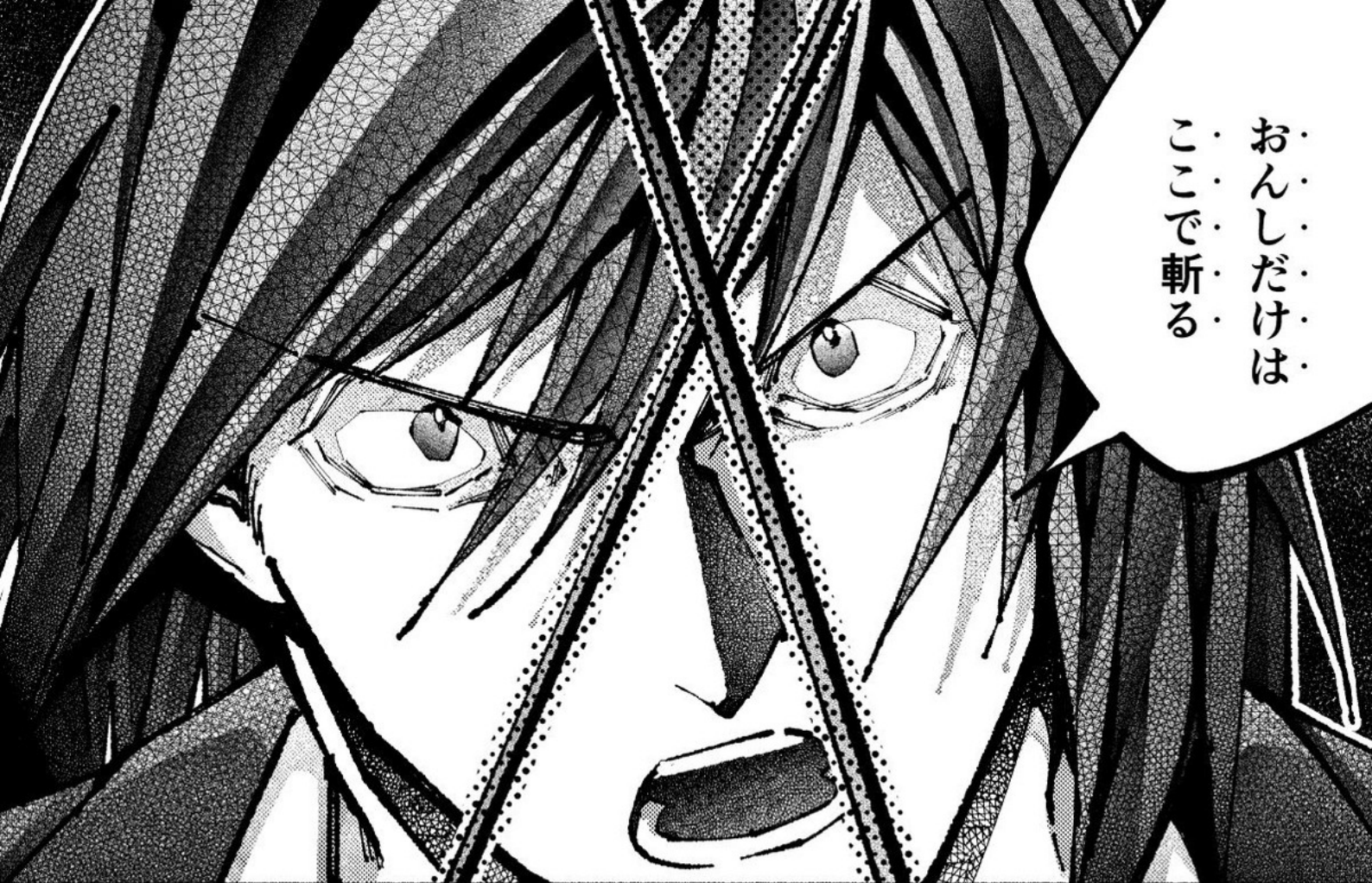
世界中の
人間か

ぼくの
言葉だからだ

あやかし
ンじや
ボケエ!!



おんしだけは
ここで斬る



USJは

英霊でも

魔力の残滓でも

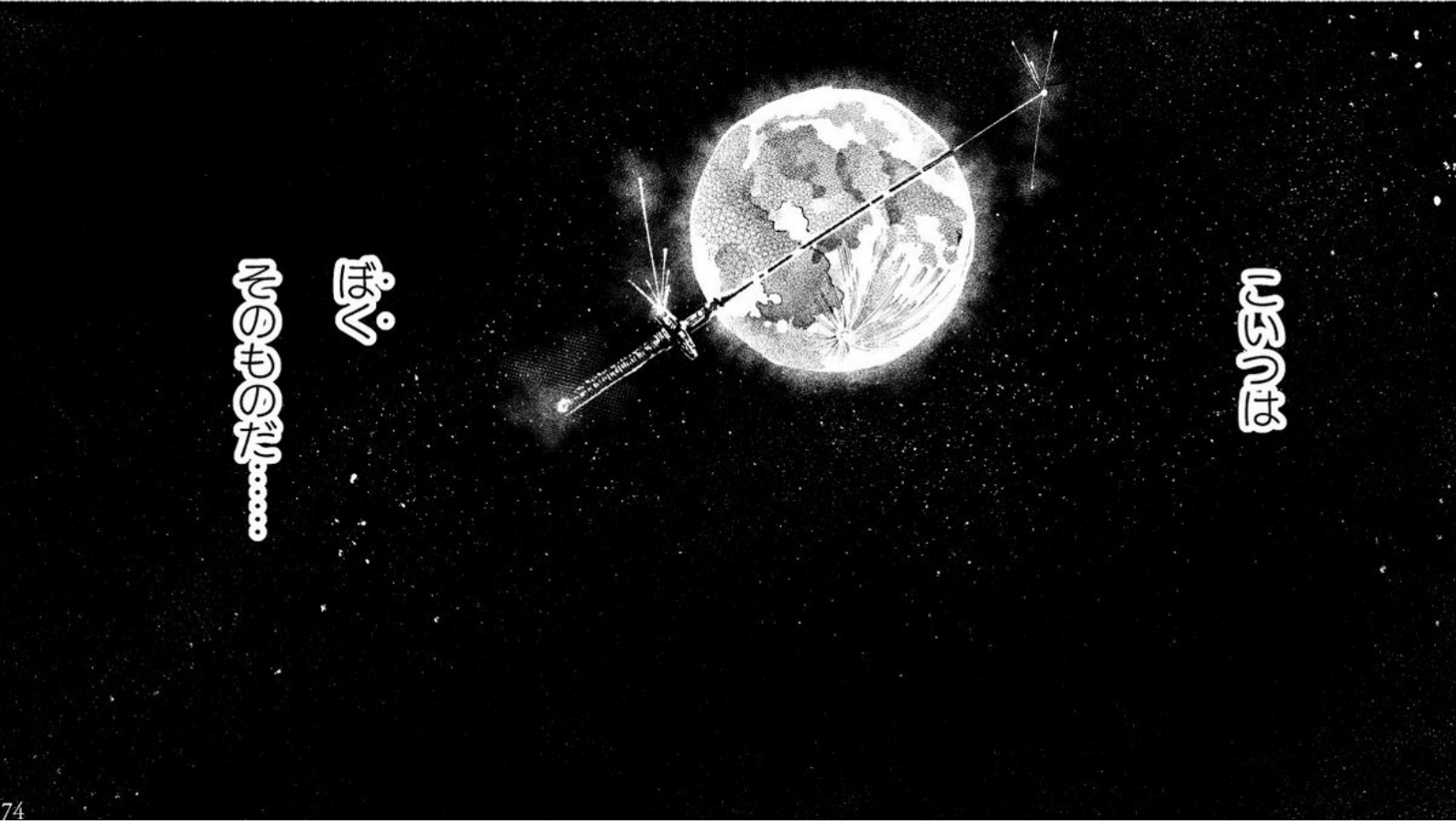
ましてや 僕の
別側面でも
ない

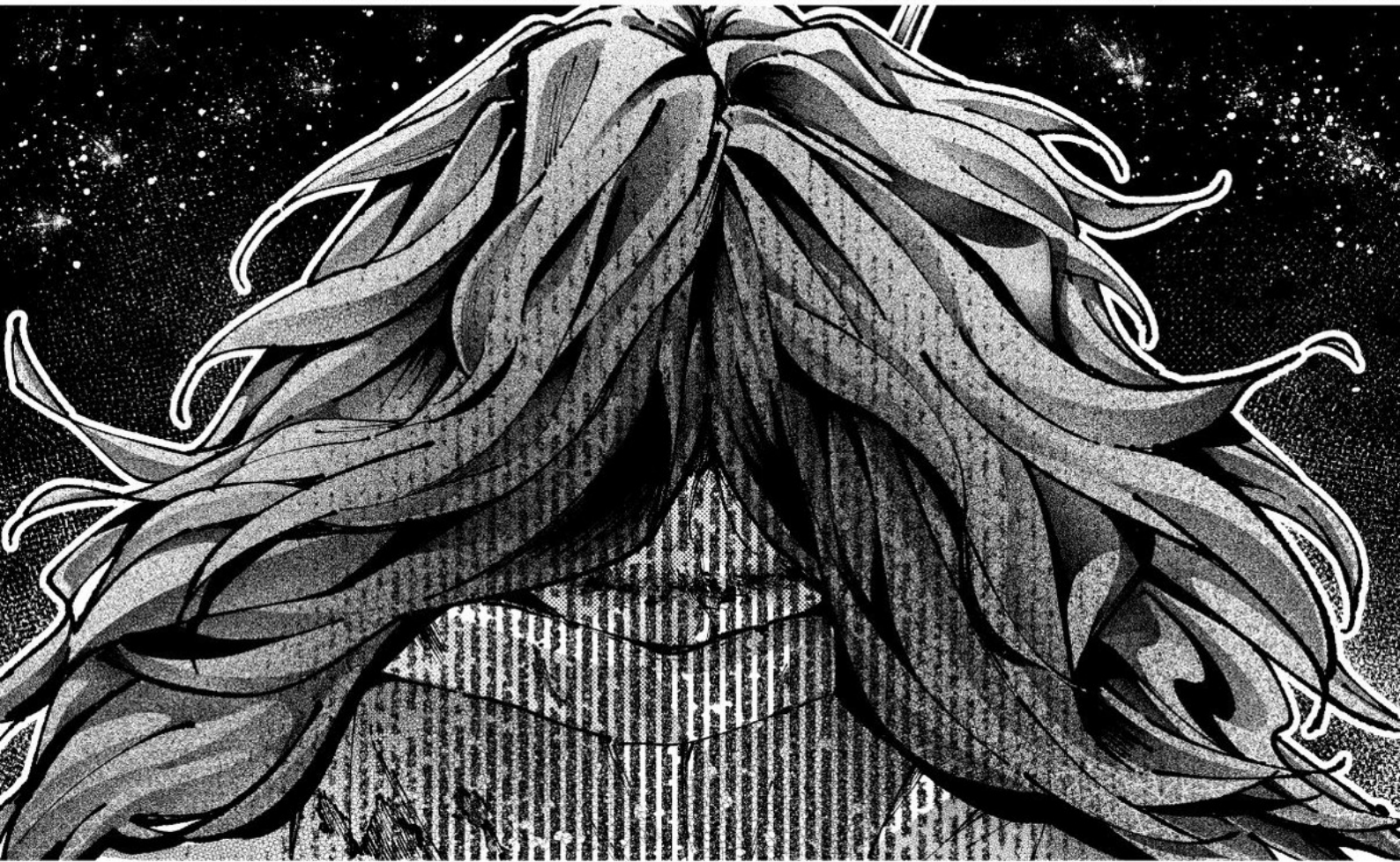


USJは

ほぐ

そのものだ……

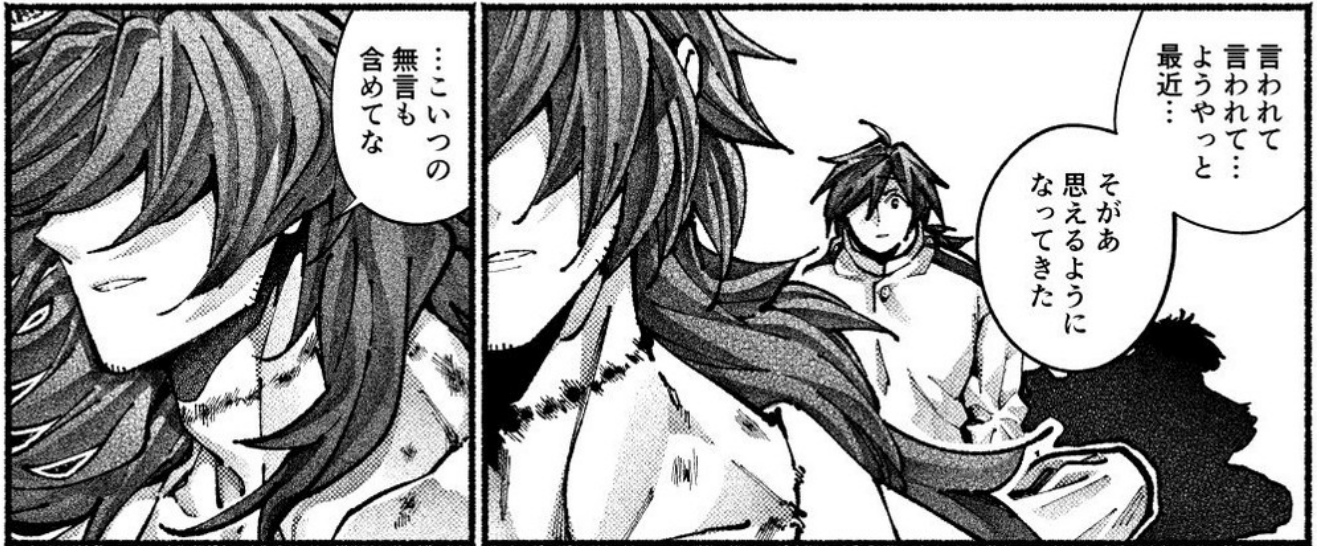






以蔵さん……





……わしは
英霊であつて

ほんまもの
岡田以蔵やない

過ぎた影

使役される者

そんで 今は…
今の主の
刀じゃ

あの時代…
土佐に生まれ
日の本の地を踏み

人を斬つて
生きた…

人間の
岡田以蔵が
最期のときまで

憎みぬいて
恨みぬいて
……

惚れぬいて
好いちよつた
坂本龍馬は
……

ここに居る^お

約・束・を・
破・つ・た・ほ・う・の・
龍馬なんじゃ

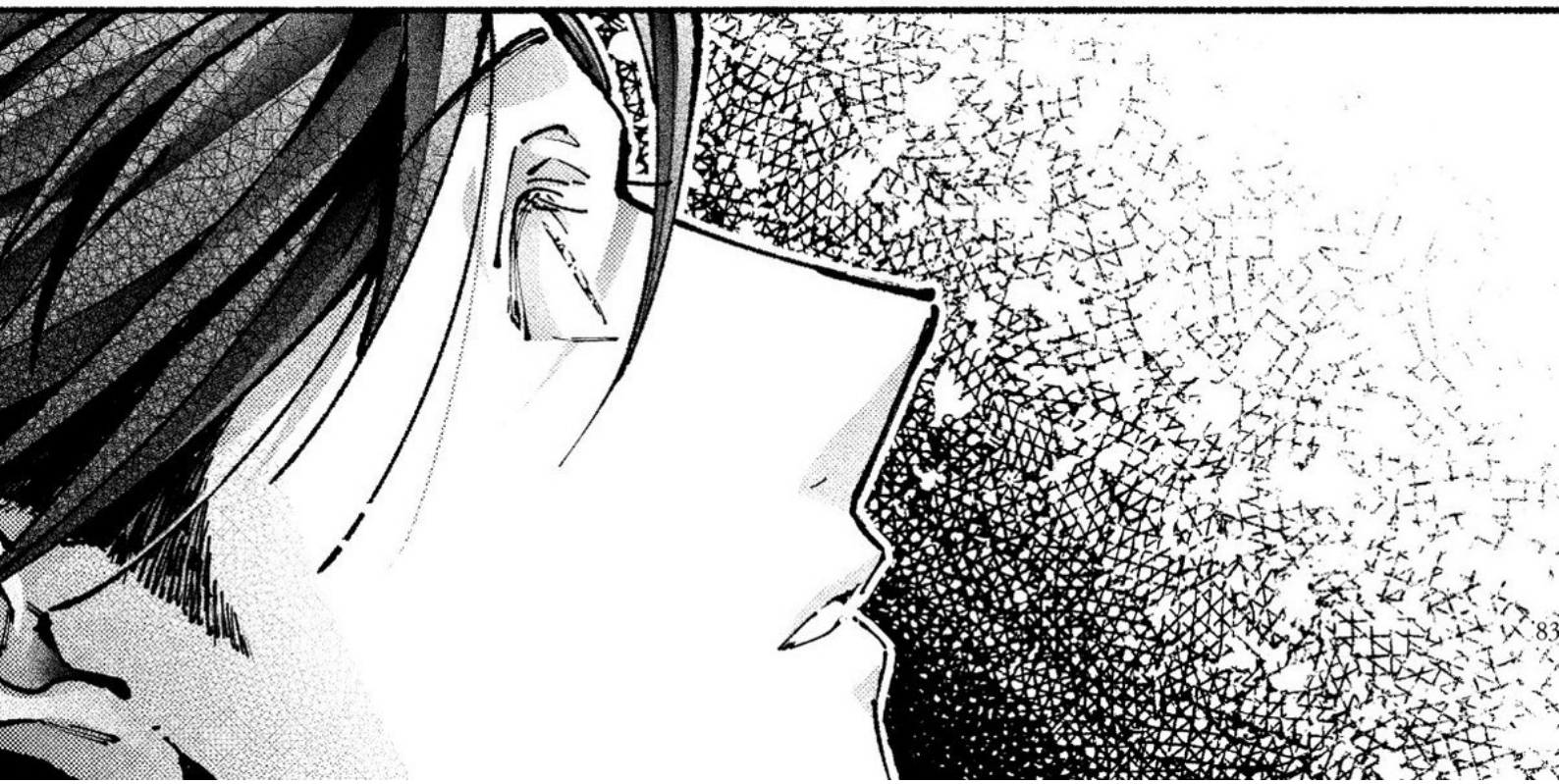
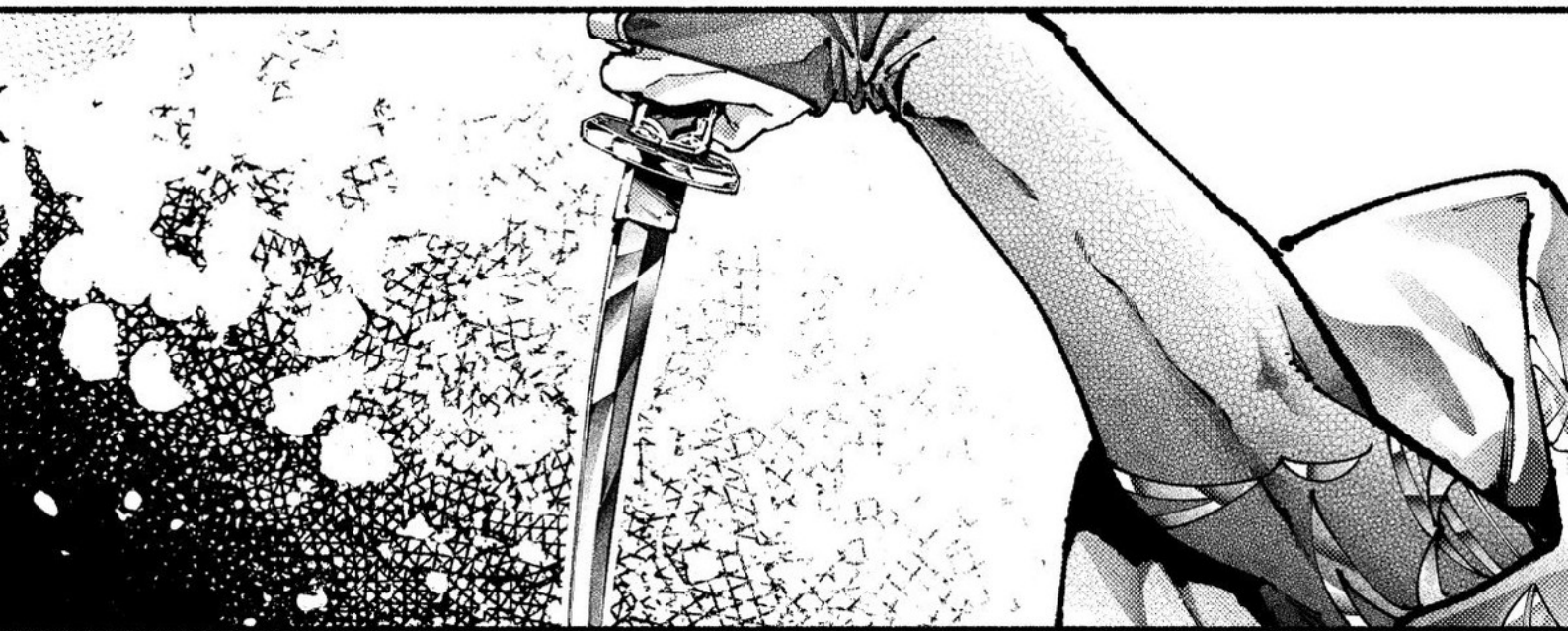


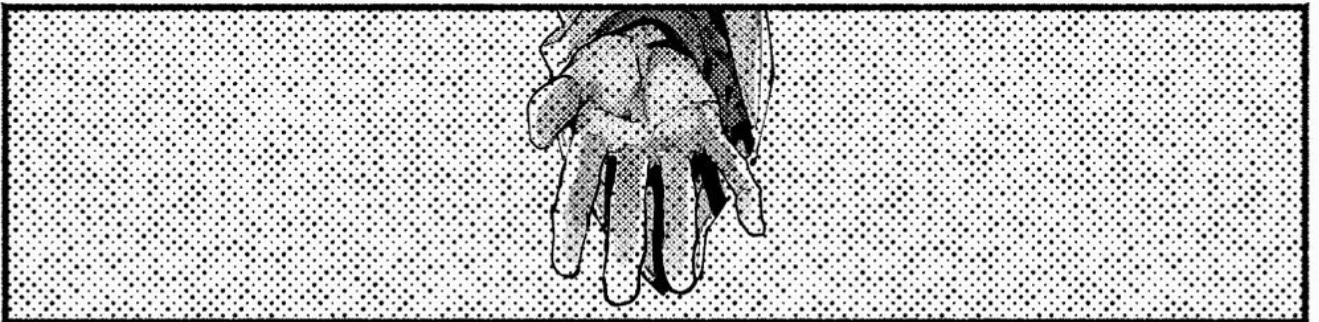
天なんぞには
誅^うたせてやらん

おまんは
ここで…

サ・ヴァ・ント・
ア・サ・シン・
岡田以蔵

この
わしが
斬る！



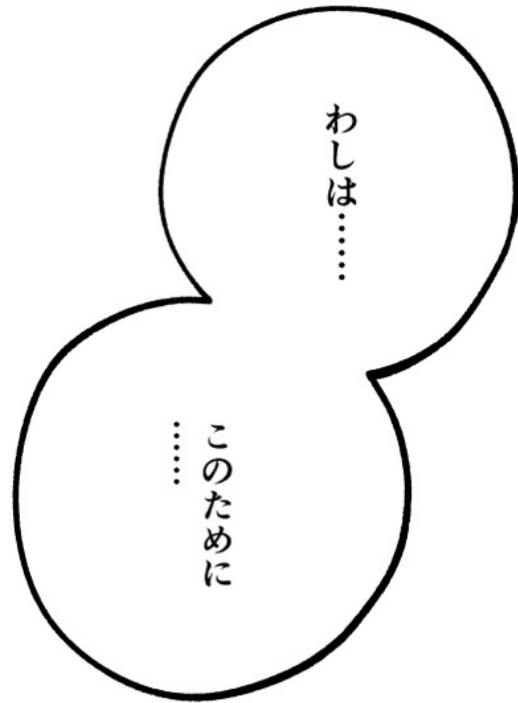


ありがとうな

約束

守りにきて
くれて……











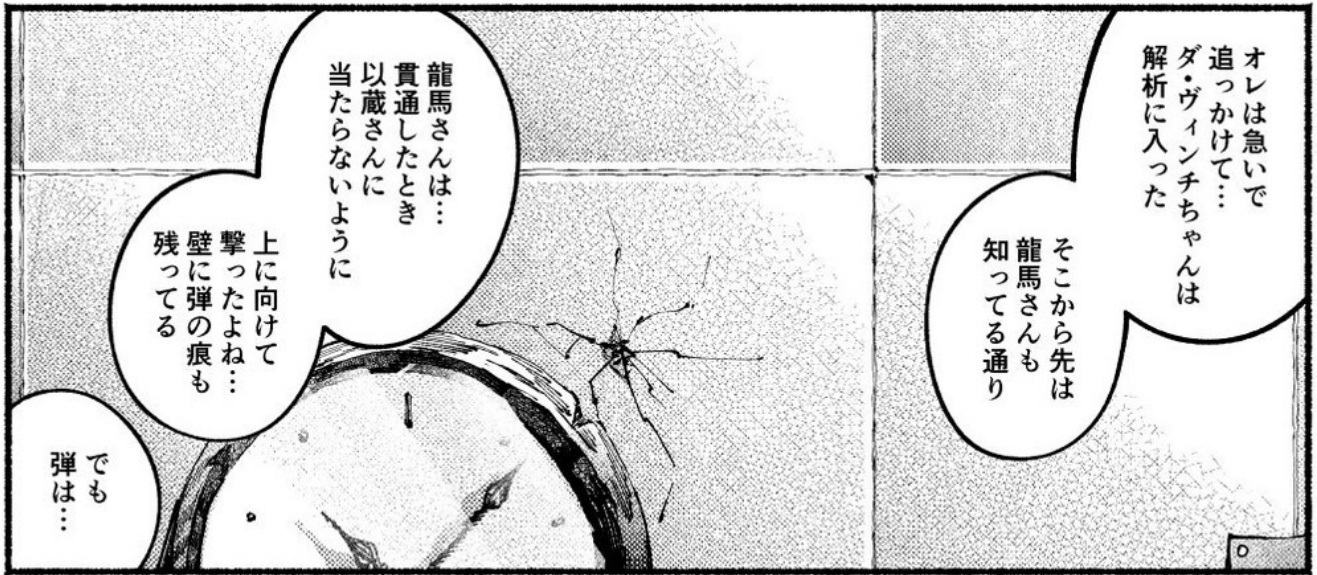
もう一人
龍馬さんが
召喚サークルから
現れたんだ

急いでる、って
そのまま
以蔵さんの部屋に
向かって…

マスター
…
何が…

…あの時

よかつたー
以蔵さん
起きてるぞ



オレは急いで
追っかけて…
ダ・ヴィンチちゃんは
解析に入った

そこから先は
龍馬さんも
知ってる通り

龍馬さんは…
貫通したとき
以蔵さんに
当たらないように

上に向けて
撃つたよね…
壁に弾の痕も
残ってる

でも
弾は…





す・り・抜・け・た
よ・う・に・見・え・た



同・時・に
二・人・と・も
気・を・失・っ・て・……



……
おそらく
あの
龍馬さんは

長いこと
カルデア
ここには
居られなかった



だから
『自分が存在
出来る場所』に

二人を連れて
行ったんだろう……って
ダ・ヴィンチちゃんは
言ってた

行った先は
おそらく……

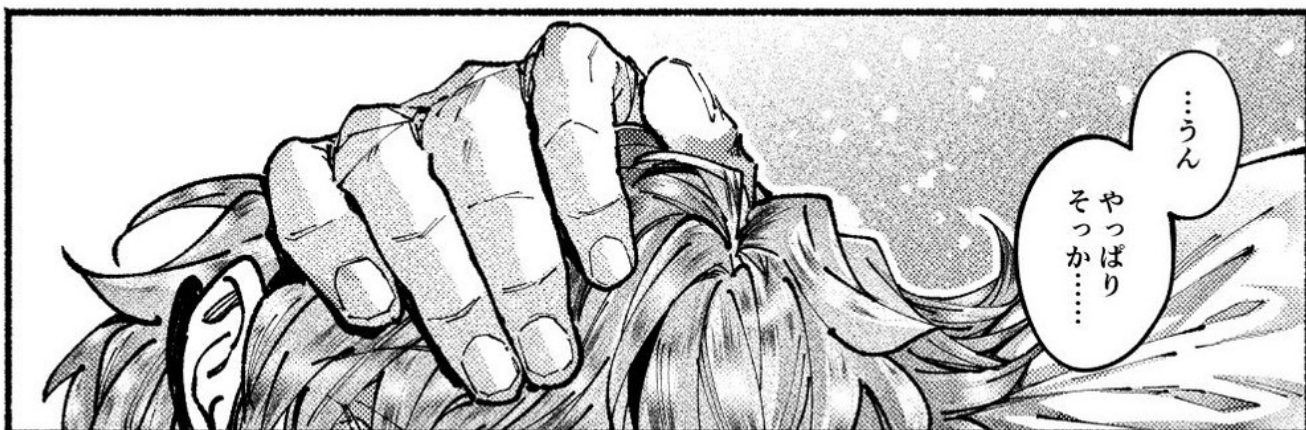


……ああ

女史の
予測通り
だろう……

場所は
現代の……

……日本国、
高知県だ



……うん
やっぱり
そっか……



ぼくの
この手
...?

マスター
...

...



あ、
それ...
うん、
床で
擦り剥い
たんだ

二人が
倒れた
とき...

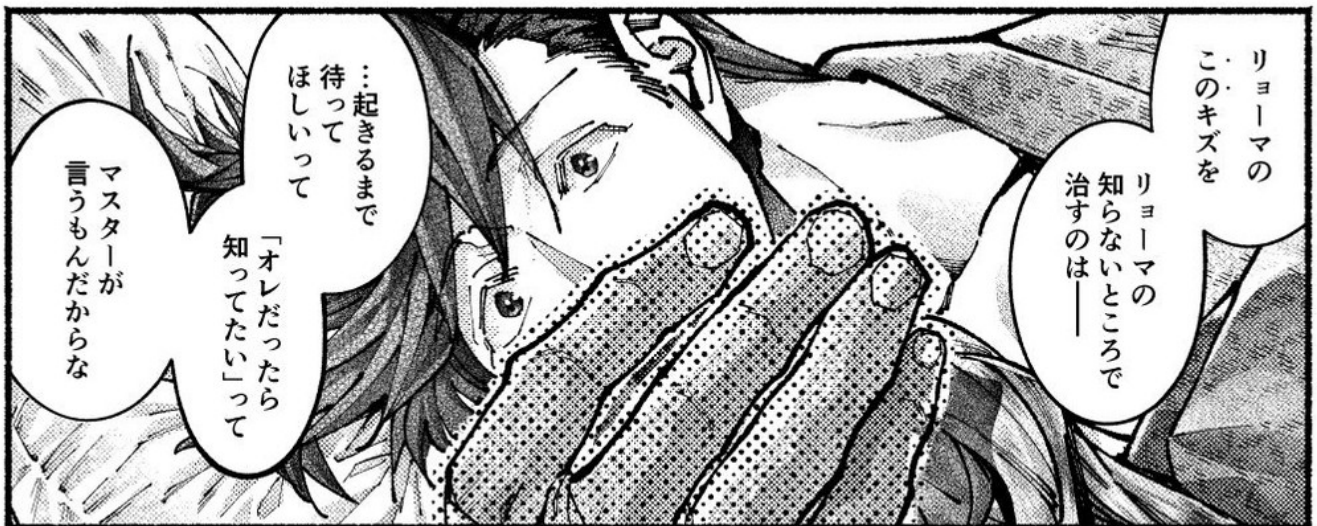
覚えてないなら
やっぱり無意識
だったんだね

以蔵さんを
庇うみたいに
腕を下敷きに
そのときに



ナイチンゲールが
すごい形相
するから
とりあえず
最低限の
手当ては
したんだけど
...

お竜さんが
舐めたほうが
早く治ったん
だがな



リヨーマの
知らないところで
治すのは...

「オレだったら
知っていたいって
待って
ほしいって
...起きるまで」

マスターが
言うもんだからな



本当は、ずっと思っていた

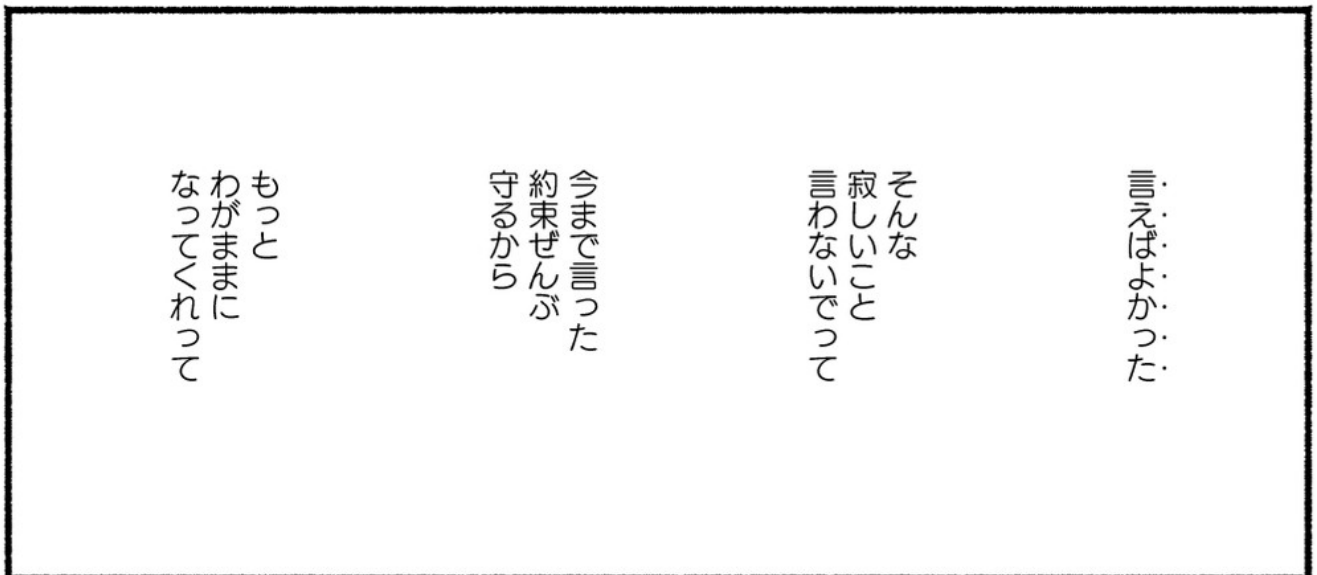
まもれた



守れそうな
約束を
言い出すのを
待っていたと

きみが
言った

あのとき



言えよかた

そんな
寂しいこと
言わないでって

今まで言った
約束せんが
守るから

もっと
わがままに
なってくれって



裏切り者で
約束破りで
きみを守れない

きみを恋う
きみを想う
権利なんて
なくっても

それでも

それでも

…余計な
お世話
だったかな

…うん…
ありがとう

以蔵さん

ぼくは きみを
守れたのかな

そはに
いられるのかな

ありがとう…
マスター

オレの
勝手でさ
……

きつと
もうすぐ
以蔵さんも
目を覚ます

もう少し
寝顔を
見ていたい

だけど
はやく
伝えたい

ぼくは
もっと
きみに

よくほりに
なることに
するんだって

権利なんて
なくなつたって

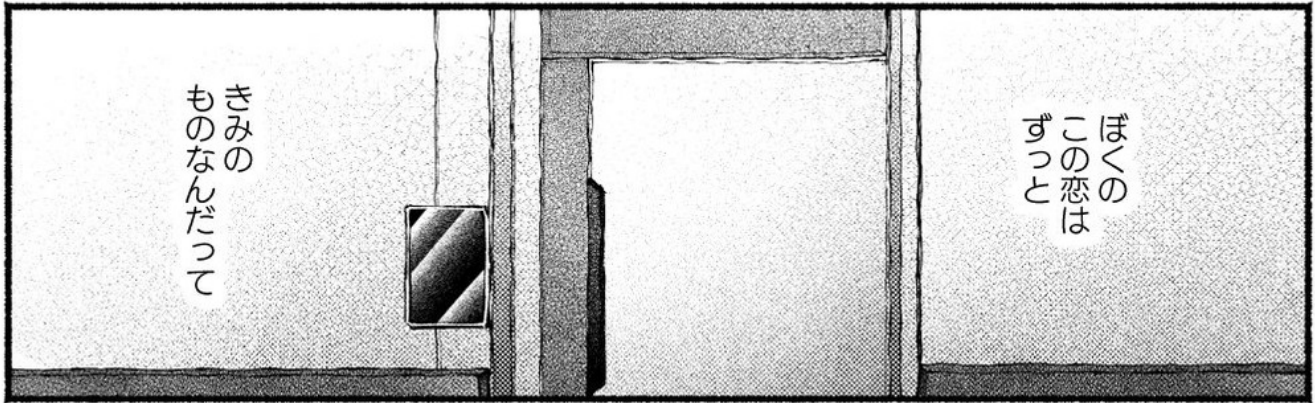
ぼくは ぼくを
とびこえるくらい

もっと
ずっと
好きで
いたいって



海を見ても
世界を見ても

この次の瞬間
きみを捨てて
みんなを取っても



ぼくの
この恋は
ずっと

きみの
ものなんだって

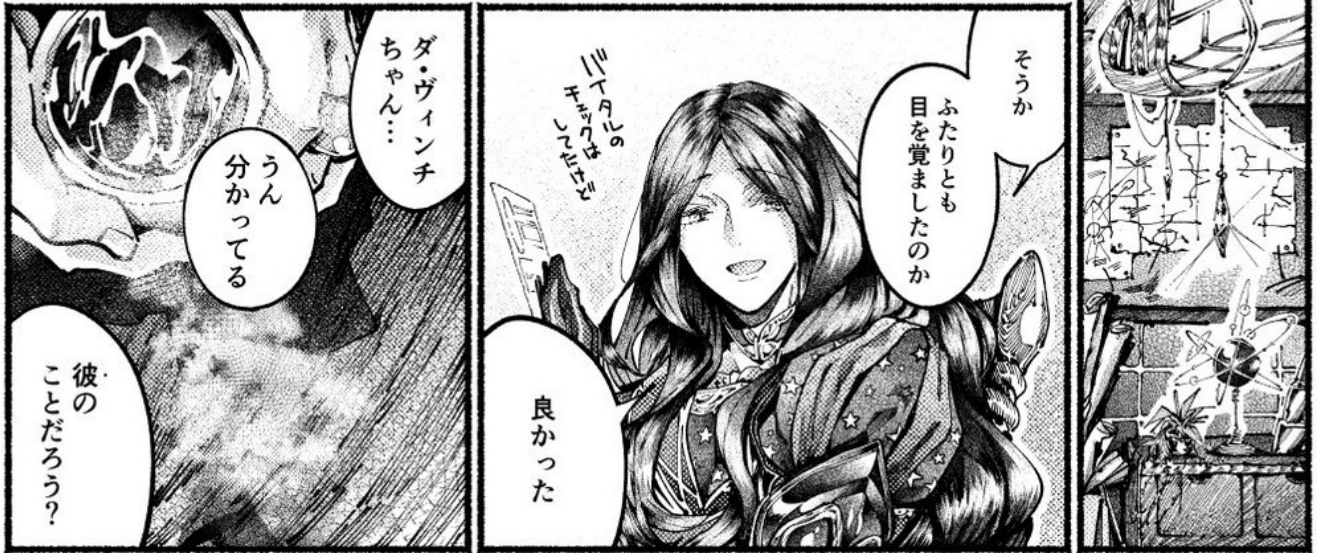


だって



きみに
恋していない
ぼくは

絶対に
どこを
探しても
いないから



そうか

ふたりとも
目を覚ましたのか

ハタリス
キムカは
ジョンドラ

良かった

ダ・ヴィンチ
ちゃん…

うん
分かってる

彼の
ことだろうか?



…龍馬さんが
言ってた

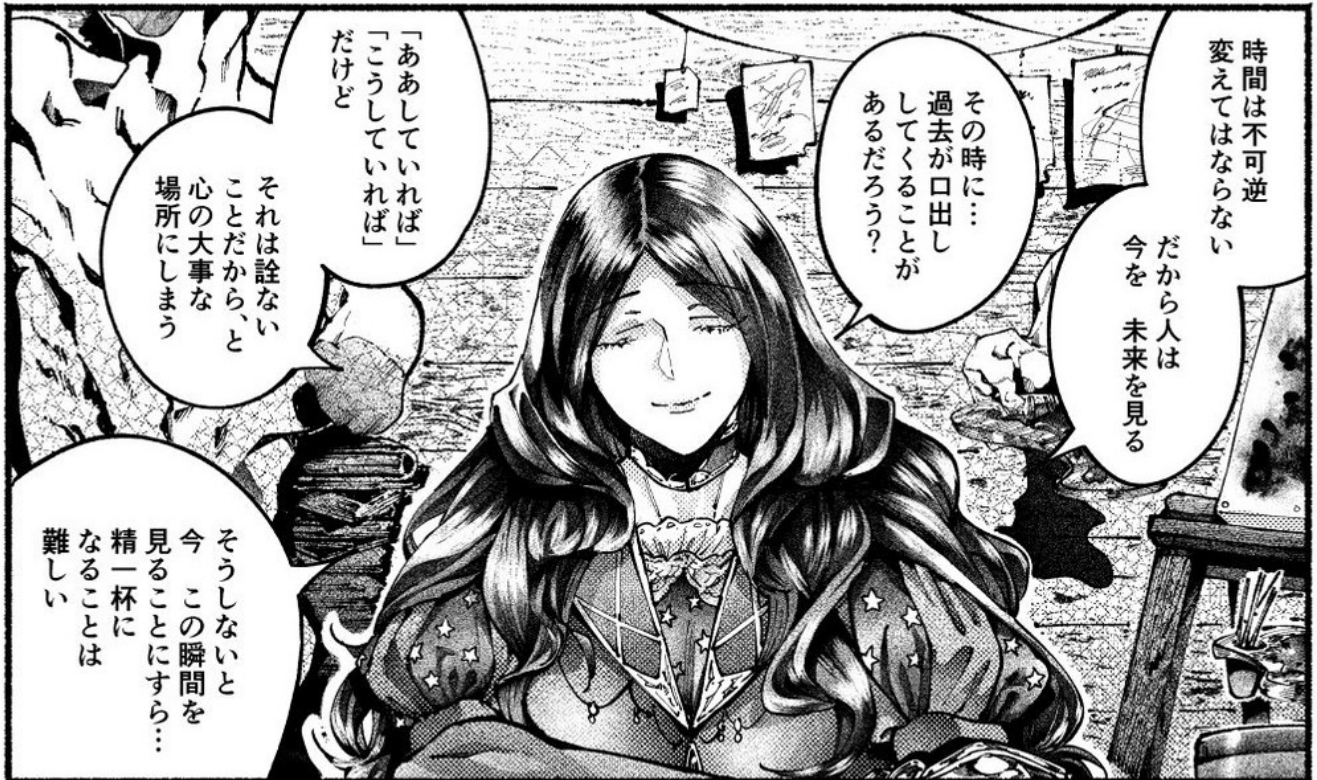
あれは
自分自身
だって…

シャドウ
サーヴァント
でも

オルタでも
ない…

うん

そうだろうね



時間は不可逆
変えてはならない

だから人は
今を 未来を見る

その時に…
過去が口出し
してくることが
あるだろうか?

「ああしていれば」
「こうしていれば」
だけど

それは詮ない
ことだから、と
心の大事な
場所にしまう

そうしないと
今 この瞬間を
見ることにすら…
精一杯に
なることは
難しい



言うならば その
詮ないことの
大切な
かたまりが

あの、もう一人の
坂本龍馬だ

だからこそ
「自分自身」
もう一人の
坂本龍馬

自分自身だけの
後悔と、罪悪感と…
…あれも、これも、と
自分を嫌う自分、
自分を、許せない自分



…
あれはね

土佐に
在り続けた…
亡霊の
ようなもの

彼は…



坂本龍馬の
初恋だよ…

人は変わり
記憶は薄れる

その日から
およそ
150年もの間……

彼は
どうやって
過ごしたんだろう

どうして
たったひとりの人を
思うことが
できたんだろう

時が経つと
声が霞む
姿がうつろう

匂いさえ
時間の流れの前に
かき消えて
泣きたくなる

景色が変わる
時が変わる
時代が変わる

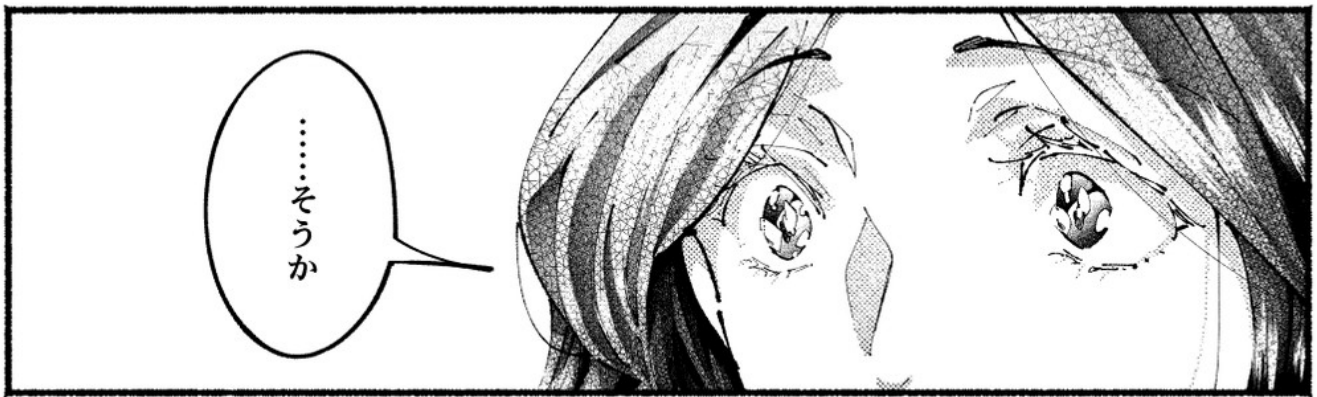
それは本当に
強大な力で……
人ひとりで
抗い続けるには……
あまりに厳しく

責め苦にも
等しい

どうして
抗えたん
だろう

なぜ

忘れずに
いられたん
だろう



……そうか



あの
亡霊は

空を
見ていたのか

海ではなく
空を……



ぼくの話
聞いてくれる？



R U N

N I N G

E L T

A N I

契りの夢に雨の降る

発行日：2019/07/14

発行者：しゅん太(百十番地区)

連絡先：shunta110da@gmail.com

印刷：booknext様

無断転載・複製・複写・転用、ウェブ上へのアップロード、
またネットオークション・フリマアプリなどでの転売は固く禁じます。
この本は個人的に作成されたファンブックです。
原作者様および全ての著作権元とは一切関係ありません。



メッセージフォームです。
ご感想などいただければ、
励みになります。